１１月号
令和８年１０月３０日

与野西北小だより



開校60周年
キャラクター
ろくまる

学校経営方針　【みんなでつくる　みんなの与野西北小学校】
児童会スローガン【　せ・い・ほ・く　だ・い・す・き　】
【学校教育目標】　◇みんなと協力する子（徳育）　◇自分の力で考える子（知育）
◇心身ともに健康な子（体育）　◇人との関わりを大切にする子（響育）

与野西北小学校℡853－0109　ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞｱﾄﾞﾚｽ http://yonoseihoku-e.saitama-city.ed.jp/



スポーツを楽しもう

校長　緒方　健二

10月23日に開催されたスポーツフェスティバルには、多くの皆様に御来校いただき、温かい声援をありがとうございました。おかげさまで、子どもたちは練習の成果を存分に発揮することができました。また、開校60周年を記念したバルーンリリースも、子どもたちの心に残る素晴らしい時間となりました。

先日、休み時間に校庭で遊ぶ子どもたちの様子を見ていました。2つに分かれて、すぐにドッジボールが始まりました。審判がいないので、全て自分たちで遊びを進めます。ボールが当たったのか、ボールがコートの外に出たのか判定も自分たちで決めます。子ども同士で、しっかりとコミュニケーションをとり「**折り合い**」をつけて楽しく遊ぶことができているところが、素晴らしいと感心しながら見惚れてしまいました。当たり前のように見えますが、非常に高度な活動です。まさに、「自分で考え、自分で判断し、自分から行動する子」として成長している様子を見てうれしくなりました。



皆さんは、「**アルティメット**」というスポーツです。ご存じでしょうか？
アルティメットは、簡単に言うと「アメリカンフットボール　＋　バスケットボール　＋　フライングディスク」という競技です。フライングディスクを味方同士でパスを回して、アメフト同様のエンドゾーン内でキャッチすると得点になります。1968 年にアメリカの高校生によって考案されたスポーツで、現在は50カ国以上でプレーされ、世界大会も行われています。2028 年のロサンゼルス五輪では競技入りが検討されていましたが、残念ながら見送りとなりました。
アルティメット（Ultimate）とは、「最高の、極限の、究極の」という意味です。他の競技にはないディスクの飛行特性を操る技術や走力、持久力を要することから、この名前となったそうです。ちなみに、身体接触は禁止されています。このスポーツが究極と呼ばれるにふさわしい理由がもう一つあります。それは、アルティメットの試合は、審判を置かないという＜スピリット・オブ・ザ・ゲーム（各選手のフェアプレイに対する責任感）＞という基本理念に基づき、自己審判制（セルフジャッジ）で行われるということです。国際大会でも同様のルールで開催されているというところが驚きです。

日本フライングディスク協会名誉会長の師岡文男氏は「**自分に対しても相手に対しても正直になることが一番合理的な選択となります。実際のプレーでは、それぞれの選手の視点によってとらえ方が変わることがありますが、それこそダイバーシティです。意見の違いを認めつつ、相手の主張を聞いて、納得する結論を出していく。審判という正解ではなく、選手同士の納得解で試合を進行するため、試合中の判断に対する後腐れがなく、負けても人のせいにしない。自分たち自身でルールを運用することで、全員が納得感を持った試合をつくることができる。**」と述べています。試合と遊びの違いはありますが、休み時間にドッジボールを楽しむ子どもたちの姿は、まさに＜スピリット・オブ・ザ・ゲーム＞の実践であり、この経験が子どもの更なる成長を促してくれます。
師岡氏は、さらに「**スポーツの語源は＜普段とは違うことをして楽しむこと＞。スポーツ本来の意味を正しく理解して、ありとあらゆる人に楽しんでもらいたい。**」と述べています。我々は、スポーツを行う際に、勝敗や評価にこだわり過ぎてしまうことがあります。スポーツ本来の楽しさを味わい、生涯にわたって豊かなスポーツライフを続けていきたいものです。学びについても同様で、小学校時代に学ぶ楽しさを味わうことで、生涯学習の基盤を作ることが大切です。子どもたちには、学習、運動、芸術などの本来の楽しさ、素晴らしさを存分に味わって、豊かな人生を楽しむ大人になってもらいたいと思います。